

機械設計業務に従事する技能者・技術者の方で中核的な役割を担う方へ。

3次元CADデータを活用し3Dプリンタを利用した造形技術、造形に関わるノウハウを習得します。

NEW

3Dプリンタを用いた

製品試作における造形技術 講座

日時	令和7年 6月16日(月)~17(火) 2日間	9:00~16:00 (昼休憩 1時間)
会場	ポリテクセンター米子 (米子市古豊千520)	
講師	ポリテクセンター米子 指導員 花谷 優作 (はなたに ゆうさく) 氏 ポリテクセンター米子 CAD・NC加工技術科 職業能力開発指導員 (テクノインストラクター)	
目的	試作/解析/評価の生産性向上をめざして、ものづくりにおける設計から製作に至るプロセスの効率化、最適化(改善)に向けた3次元CADデータの活用方法と3Dプリンタによる各種造形方式に関する知識や設計手法を習得する。	
養成する能力	生産性の向上を実現できる能力	
締切り	令和7年 5月16日(金)15時まで	定員 10名(先着順)
受講料	4,000円/人(テキストを含む)	
持ち物	筆記用具	
申込み手続き	申込みは[とっとり電子申請サービス](以下のURL)からお願いします。 https://apply.e-tumo.jp/pref-tottori-u/offer/offerList_detail?tempSeq=15561 入力を終了し送信すると受付メールが自動配信されますが、この時点では確定しておりません。 申込を確認し、受付を完了しましたら、申込確定のメールが配信されます。 (定員オーバー等でお受けできない場合もメール連絡されます。) ※後日、ポリテクセンターが発行する請求書等を送付しますので期限までに入金してください。	



講座概要

- 3次元造形技術の動向
 - 3次元データの活用方法とものづくりに生かす造形技術の概要
 - 3Dプリンタ利用における現状と課題
- 造形品の設計手法
 - 造形技術の種類と特徴
 - ものづくりにおけるCADデータの活用(4Cサイクル)
 - 造形品に関わる設計ノウハウの習得
 - 変形を防ぐための効果的な手法
- 造形実習
 - 仕様の提示・検討
製作課題の提示
 - 検証形状作成
3次元CADによるモデリング
造形に対応した形状の作成
 - 造形品の仕上げ
造形品の後処理
造形品の表面研磨
形状の誤差と変形量について
- 試作品の評価・改善
 - 表面評価
 - 寸法・形状の評価
 - 評価に基づいた改善策の検討
- まとめ

<ポリテクセンター米子会場案内>

